

介護現場における生産性向上に向けた取組方針【概要】（介護生産性向上推進総合事業）

現状と課題

- 本県の高齢化率は32.6%(R6.10時点)で、県民の約3人に1人が高齢者という状況。
- 介護ニーズの増加が見込まれる中、令和22年度に本県の介護職員は9,554人不足する見込み。
- 質の高い介護サービスを維持していくためには、介護現場の業務改善や効率化を進め、**介護職員の業務負担の軽減**を図るとともに、**介護人材の確保・定着を促進**することが必要。

介護現場における**生産性向上**や**人材確保**の取組を推進

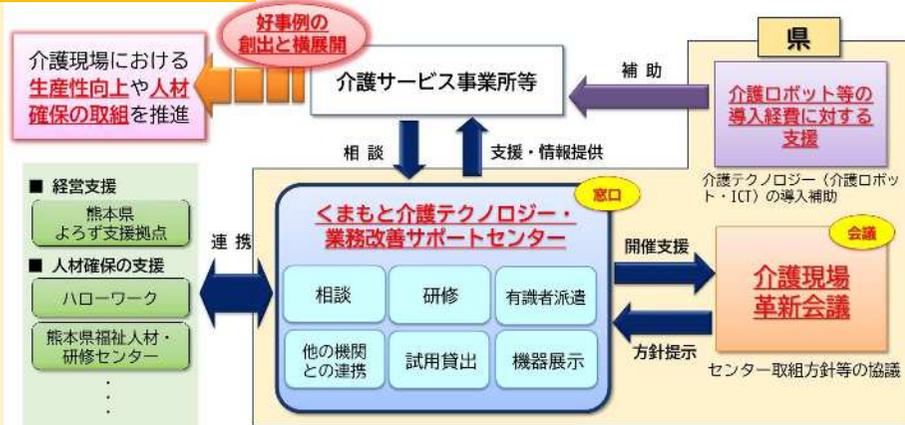
目指す姿

介護現場における生産性向上の取組を推進し、介護職員が安心して、楽しく、働きたいとすることができる職場環境を整備することで、職員のモチベーション向上や人材の確保・定着につなげ、最終的な目標である「**介護サービスの質の向上**」の実現を目指す。

取組内容

- ✓ 地域の関係機関等と介護現場の生産性向上について**協議する場（介護現場革新会議）を設置（R7.4.1）**
- ✓ 介護テクノロジー（ロボット・ICT機器）の導入・活用等による生産性向上を**ワンストップで支援する総合相談窓口を設置（R7.4.30）**

事業イメージ



センターの主な業務内容

- ① **業務改善や介護テクノロジー導入等に関する相談対応**
➢ 専門機関や専門家と連携し、課題解決に向けた支援を実施
- ② **介護テクノロジーの展示、試用貸出**
➢ 介護テクノロジーの体験等が可能な常設展示場を設置
➢ 介護テクノロジーの試用貸出の実施（2週間～1ヶ月）
- ③ **介護現場における生産性向上の取組に関する研修会の実施**
➢ 介護現場における生産性向上の取組手法等に関する研修会の実施（年3回）
- ④ **業務改善や介護テクノロジー導入等に係る専門家の派遣**
➢ 専門家の個別派遣による伴走支援を実施（5事業所）
- ⑤ **介護現場における生産性向上の関連情報の収集、発信**
➢ 介護現場における生産性向上の関連情報をホームページ等へ掲載
➢ 好事例をまとめたリーフレットの作成

取組の方向性

- **介護現場における生産性向上の取組手法の普及**
➢ 国のガイドラインを活用した業務改善の取組手法等を県内介護サービス事業者へ普及
- **介護テクノロジー導入の支援**
➢ 熊本県介護職員勤務環境改善事業費補助金による介護テクノロジーの導入支援を継続
➢ 介護現場の課題抽出から機器の選定・導入、導入後の活用までの一連の取組を総合的に支援
- **好事例の横展開と介護業界のイメージ向上**
➢ ホームページやリーフレット、研修会による好事例の紹介を通じた、生産性向上への意識醸成と横展開
➢ 幅広いPR活動による介護現場の魅力発信等による業界イメージの向上

取組の目標値

- **介護テクノロジー導入率**
➢ R8：50%（※入所系施設は60%）
➢ R11：90%
- **伴走支援による生産性向上の効果創出**
➢ 利用者の満足度等の悪化が見られないこと
➢ 介護職員の総業務時間、超過勤務時間の短縮
➢ 年次有給休暇所得の維持または増加
※ 必要に応じて支援終了後のモニタリング実施も検討
- **ワンストップ窓口における相談対応件数**
➢ 100件/年